

公園はつぶしてしまったら、もう元には戻りません

～「平和の森公園」への中野体育館移転についてのアンケート調査より～

昨年2月の第1回定例会で、中野体育館の平和の森公園への移転と平和の森公園の再整備計画が報告され、7月16日には田中区長の記者会見も行われました。中野ネットにも多くの区民から意見が寄せられましたので、まずは公園の現状を知ろうと急ぎよ、8月28日に「平和の森公園」の開設に関わった元東京都職員の出田和夫さんの案内で「平和の森公園ウォッチング」を開催しました。参加者からは、改めて公園の価値を考える機会になったと好評でした。

その後、この計画についての周知度や計画をどう思うかについてのアンケート調査を実施しました。9月から11月末までに、中野ネットのメンバーが公園の利用者や近隣にお住まいの方を中心に、一人ひとりに丁寧に聞き取るという効率の悪い手法ながら、130人超の方から意見をいただきました。

回答者は10代～80代で、男女別では女性が多く、「平和の森公園への中野体育館の移転を知っていますか」には、「知っている」という答が約85%でした。「移転計画をどう思いますか」の質問には、「幼児から高齢者がいつでも好きな時間に利用できる貴重な場所をなくすのはいかなものか」、「毎日ウォーキングして健康維持に努めている、介護予防を進めているのに相反する」、「とにかく説明がない、区長の会見やTVなどで突然知った。何十年もかけて育った木を切り倒して体育館を建てるなんて」、「ドッグランは中野区でここしかない。中野区は緑が少ないので体育館は学校跡地に建てればよい」など、計画に疑問をなげかけるものがほとんどでした。

中野ネットでは、平和の森公園は老若男女誰でもが気軽に利用できる地域住民の憩いの場であり、体育館建築により都市の中の貴重な緑地が縮小され、防災機能も著しく低下すると考えます。

大河原まさこさんを推薦します。

東京・生活者ネットワークは、市民の声が届く政治、市民が主権の政治を実現するために、来る7月の参議院議員選挙[比例代表区]で、ネットの国政取り組み方針を共有できる大河原まさこさんを推薦します。

生活者ネットワークの国政取組方針

●憲法を活かす ●脱原発、省エネ・再生可能エネルギー政策を推進する ●地域主権を拡大する ●セーフティネットを充実させる ●食の安全を守る ●女性議員を増やす

中野・生活者ネットワークも大河原まさこさんの活動を応援します。

おおかわら・まさこプロフィール

1953年生まれ。フェリス女学院中・高校、国際基督教大学卒業。映画舞台製作会社入社。生活クラブ生協に加入、食品安全条例制定直接請求運動などに関わる。93～2005年都議会議員。99～06年東京・生活者ネットワーク代表委員。07～13年参議院議員(東京選挙区)。厚生労働委員、農林水産委員、消費者問題特別委員など。民主党参議院比例区第一総支部長。14年「リベラル市民政治研究所」設立、代表。自治体議員立憲ネットワーク顧問。世田谷区在住。



中野・生活者ネットワークは、市民と一緒に安保法制に反対の活動を続けています。昨年開催された「憲法と平和を守る12・8中野集会」では、代理人の細野かよこがスピーチをしました。

「安保法制」は廃止を



第3回水色サロン

選挙管理委員の仕事って何？

- 日時：1月22日(金) 午後7～9時
- 会場：野方区民活動センター洋室C
- 参加費：無料

区の選挙管理委員が何人いるかご存知ですか？報酬、選挙のない時の仕事、選挙の前後の仕事やそもそもどうやったらなるのかなど、選挙管理委員についてのあれこれを、現選挙管理委員の齊藤睦さんにうかがいます。今年は夏の参議院選挙で18歳選挙権がスタート。この機会に、選挙管理委員の仕事について一緒に考えませんか。

お申し込みは：中野・生活者ネットワーク T/F 5356-8356
Mail : nakanonet1987@gmail.com